牛の受精卵移植研究で畜産研究功労賞を受賞

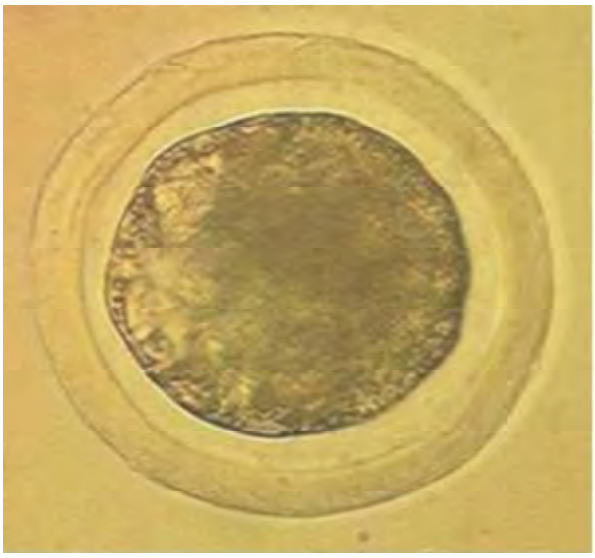
畜産技術部(畜産試験場)
平成 21 年 6 月 18 日

６月 12 日、東京都文京区全国家電会館において公立試験研究機関の長で構成された全国畜産関係場所長会から、農林総合技術センター畜産技術部家畜改良研究室の松岡一仁室長が畜産研究功労者賞を受賞しました。

同表彰は、畜産の試験研究に従事したものの中から、顕著な研究成果を残した者に対し、全国で 10 名程度を選出し、これを表彰するもので、本県では平成 14 年以来の二人目の受賞となりました。

同室長の受賞評価である主な業績は、「牛の受精卵移植技術の確立と普及定着化」及び「胚移植技術の分割卵・体外受精卵・性判別受精卵移植等の新技術の開発」で、平成元年に設置した「受精卵供給センター」の礎を築いた功績を称えたものです。

なお、現在も受精卵供給事業で年間約 300 卵の供給を行っており、民間の受精卵移植師の養成から技術向上支援への取り組みを行い、肉用牛の増頭・改良や酪農経営の乳肉複合を支援する技術として貢献し続けています。



牛の受精卵

受精卵の分割操作